



医療・介護の両面からサービスを提供し、地域医療の発展に貢献。

そのスムーズな連携を担うのが新世代電子カルテです。

内科・呼吸器科・消化器科・神経内科・アレルギー科・整形外科・リハビリテーション

●医療法人アソカ アソカの園 武島医院様
(広島県東広島市)

クオリス
Qualis
Medical Station

JR山陽本線西条駅より徒歩約7分の住宅地に立つ瀟洒な3階建て。平成12年4月、昭和37年から続く外科医院をお父上から引き継いで、同院を内科医院として開設した武島 裕爾院長は、内科全般にわたり、幅広く診療（往診を含め）と生活指導を行っています。また、高齢化が進む中で、デイケア（通所リハビリテーション施設）と居宅介護支援事業所を運営、地域医療の発展に意欲を燃やしています。その掲げる経営理念は「人々の心と体を見つめ続け、ともに生命に向かい合う、安心とやすらぎの医療・介護サービスを提供すること。院長のご実家は古刹の真光寺（浄土真宗西本願寺派）。脈々と流れる“癒しと看護りの心”を基本精神とし、地域のかかりつけ医院として、いかなる病気・健康不安に対しても相談に応じています。2012年8月、BMLの新世代電子カルテQualis（クオリス）の運用を開始。「導入に当たっては操作性の良さが抜群で、パソコンに不慣れなスタッフでもすぐ使えることが決め手になりました。しかも検査会社製だけあって検査データが充実しているうえに、情報も速くて正確。当院が力を入れている外来と在宅診療に連携して使えることが強みです。このため診療内容の質の向上につながって行くことが大いに期待できます」（院長）

現在、受付2台、第1診察室1台、処置室1台にサーバーという構成により、Qualisをご活用。安心とやすらぎの医療をもって地域に貢献する同医院の日々を、BMLの新世代電子カルテがしっかり支えてまいります。

『文藝春秋』2013年1月号